

復興まちづくり計画（上小池地区）

1. 地区の概要

(1) 位置・人口等

■位置

●益城町西部に位置する、交通利便性の高い町随一の交通拠点

上小池地区は益城町の最西部に位置し、地区の北は島田地区、東は砥川地区に接しています。国道 443 号線の向かいには行政区・小池秋永と下原がある「下小池」があり、本区と合わせて「小池地区」を構成しています。

国道 443 号線に隣接するのは農地や工場となっており、その奥に飯田・本土山・土山の 3 つの集落が形成されています。集落の背後に飯田山があることから、443 号線から離れるほど集落の標高は上昇していく地形となっています。

飯田山や椎ノ木池といった自然のふれあい場がある一方、土山バイパスの先には小池高山 IC に近接していることから、交通利便性の高さが特徴であり、平成 26 年より西日本フレッシュフーズ株式会社が立地しています。

図 上小池地区の位置

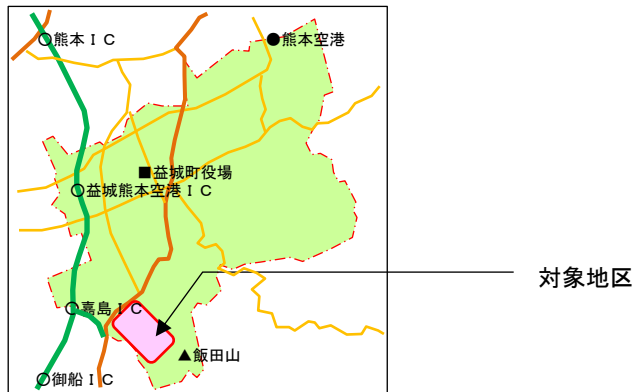
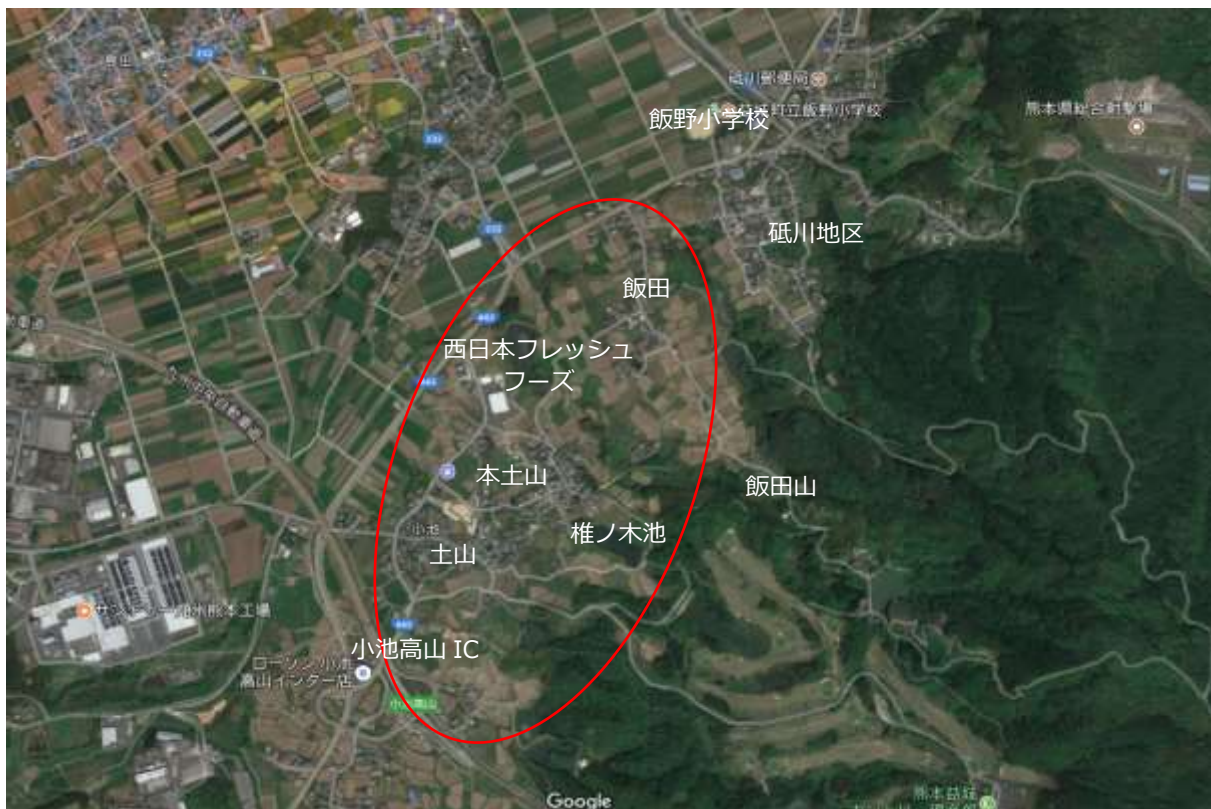


図 2. 上小池地区航空写真



■人口等

●定住促進補助制度により人口が上昇している地区

平成 29 年 3 月末日の住民基本台帳によると、上小池地区の人口は 587 人、世帯数は 214 世帯となっています。

平成 25 年に益城町定住促進補助金制度が開始して以来、本地区では新築住戸団地が形成されています。平成 28 年の熊本地震の影響を受けながらも、全体的には人口・世帯数ともに上昇傾向にあります。

平成 27 年から 28 年にかけて、飯田では人口が微減している一方、世帯数が増加していますが、世帯分離が進んだことによるものと推測されます。

表 上小池地区の世帯推移（平成 26 年～29 年）

世帯	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
飯田	53	60	60	65
本土山	59	62	61	61
土山	80	78	76	88
合計	192	200	197	214
H26 を 100 とする指数	100	104.17	102.60	111.46

表 上小池地区の人口推移（平成 26 年～29 年）

人口	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
飯田	154	173	177	174
本土山	181	184	176	182
土山	212	216	210	231
合計	547	573	563	587
H26 を 100 とする指数	100	104.75	102.93	107.31

資料：各年 3 月住民基本台帳人口

(2) 被害状況

●熊本地震による被災は比較的小さい地区

熊本地震による住家全壊などの大規模な被災は、小池地区の中では主に下小池を中心に確認されています。また、上小池が隣接する砥川地区の被災規模が比較的小さかったことから、上小池の被災規模も全体的には軽度であったと考えられますが、現在も仮設住宅で生活している住民も数名います。

上小池まちづくり勉強会では、自宅が被災しなかった参加者が多かったからこそ、これからの未来もどうしたら安全に、安心してこのまちで暮らし続けることができるか、を考えることが重要であるとなりました。

表2 飯野校区内大字別被災状況（住家）

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	被害なし	計
大字島田	118(58%)	12(6%)	28(14%)	40(20%)	6(3%)	204
大字小池	107(26%)	34(8%)	87(21%)	172(42%)	7(2%)	407
大字砥川	45(16%)	20(7%)	51(18%)	167(58%)	5(2%)	288
大字赤井	75(32%)	26(11%)	41(17%)	91(39%)	2(1%)	235

(3) 地区の課題

- ・新築住戸団地が形成され、人口・世帯数ともに上昇傾向にある一方で、既存住宅地内においては減少傾向である。
- ・既存住宅密集地において、4m未満の狭あい道路が多く、緊急車両の進入や車両の離合が困難である。

2. 地区の基本方針

上小池地区は本町が平成 25 年に開始した定住促進補助金制度により新規住宅団地が形成され、平成 28 年の熊本地震があった中でも人口が増加している地区となっています。

飯野小学校からも徒歩 20～30 分と比較的通いやすい通学距離であること、公共交通が確保されていること、小池高山 IC に近いこと、国道に近接しており近隣自治体の商業地域へのアクセスも良好である点から、集落部の中では生活利便性が高い地区であると言えます。同時に自然とふれあえる環境も整っていることから、「便利な環境で田舎暮らしができる」地域であると自負しています。

利便性と環境の良さを活かし、更に子どもたちにとって住みよいまちづくりを目指し、子育て世帯を惹きつける魅力的な地域でありたいというのが住民の願いであり、上小池まちづくり協議会の原点でもあります。

また、被災が比較的小さかったとは言え、若者や子どもが多いからこそ考えるべき安心・安全があると考えています。隣近所の絆づくりや歩行者が通りやすい道づくり、現在の豊かな自然環境を守っていくことを目指し、上小池地区のまちづくりを進めていきたいと考えています。

【まちづくりの目標・キャッチフレーズ】

“ 飯田山に抱かれた、若者が住みたくなる 安心安全なまち ”

3. 避難路・避難地の計画

< 避難路 >

避難路については、町道本土山高山線と町道土山線の交差点を、緊急車両が通行しやすくなるよう隅切り整備をします。

< 避難地 >

避難地については、町道本土山高山線沿いに立地している企業の駐車場を、企業・地域・町との協定等により、避難地として位置づけるよう働きかけます。

表 避難路の整備の概要

路線名等	整備内容	整備の内訳			概算 事業費	
		延長	幅員	面積		
		拡幅等	(m)	(m)	(㎡)	(千円)
A 町道本土山高山線と町道土山線交差点の隅切り	地区公共施設(避難路)	隅切り				629
B 一時避難地						

上小池地区



図 避難路・避難地計画図